

- 今回8%に対し、保険点数を上げたのは患者にとって、医師側の都合としか取られない。その度のレセコンのバージョンアップは医院に大きな負担となる。「消費税を取る」とした方が納得し易い。レセコンは税率の変更で済む。医療費削減というなら、保険点数でも、消費税を取っても高くなることは同じで、安いから受診というものには歯止めは効く。税率が変わる度に保険点数の見直しは愚かである。国民は心良くは絶対思っていない。消費税は、最後の人間が国に払う原則なら納得するであろう。保険財源が少ないと言っているのに還付で見栄をはる必要はない。
- 10%以上になったら閉院予定。
- 考えたことが無い。診療報酬に勘案？と思っておりました。
- マスコミに広く知らしめて、国民の多数に実態を知ってもらう必要があります。
- 犬の遠吠えに終わらせないでほしい。全知全能をもって官僚に対抗して欲しい。いつも負け犬では会員はやせ細るばかり。
- 報酬への上乗せ分が不足(パートの人件費1人分)税率0%の課税取引にする(本則通りに)。
- ちなみに今回の薬価改定で、一部のメーカーが+3%の消費税分の実質値引きに応じず、便乗値上げをしてきました。
- 当クリニックは、患者さんの利便性、経済性を考慮して院内処方しております。このため控除対象外消費税は重い負担。
- ゼロ税率を強く希望する。
- 日医が取組みはじめたのは最近である。
- 10%で終わるとは思えないので、絶対に課税すべきだと思います。
- 今頃、何のためのアンケートなのか? 対応、方針決定が遅すぎる!!

お知らせ

北海道

平成26年度かかりつけ医認知症対応力向上研修

高齢者が日ごろより受診する診療所等の主治医(かかりつけ医)に対し、適切な認知症診断の知識・技術や家族からの話や悩みを聞く姿勢を習得するための研修を実施いたします。

◎日時・場所：11月15日(土) 10:00~14:30

とかちプラザ(帯広市西4条南13丁目1番地)

◎実施主体：北海道

◎研修対象者：医師(診療科は問いません)

◎定員：30名程度

◎受講料：無料

※北海道医師会認定生涯教育講座として単位算定される予定です。

※申込方法については北海道HPよりご覧ください。

掲載URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/khf/ninchishou/h26kakaritsukeikensyuu.htm>

【連絡先】北海道保健福祉部福祉局高齢者保健福祉課高齢者計画推進グループ

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

電話 011-231-4111(内線25-665)